

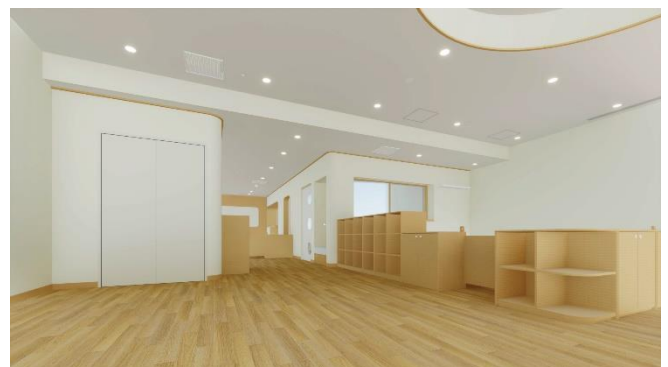


出産や育児などのライフステージの変化に左右されないキャリア育成を推進 多様な働き方を支援する企業内保育所「Smile Kids」を開園 紙おむつはパンパース「すくすくサブスク™プログラム」を採用

P & G（P & Gジャパン合同会社、本社：神戸市）は、2022年4月1日にP & Gグループ社員を対象とした企業内保育所「Smile Kids（スマイルキッズ）」をグローバルスキンケアブランド「SK-II」製品を製造する滋賀工場敷地内に開園いたします。

P & Gは、長年にわたって重要な経営戦略として、イコリティ&インクルージョン（E&I＝平等な機会とインクルーシブな世界の実現）を推進しており、多様な社員一人ひとりが等しく機会を得て、自分らしく能力を発揮できる組織作りを進めてきました。多様な人材の多様な働き方を支えるべく、社会情勢や社員のニーズにあわせて社内制度を進化・拡充させ、多様性を尊重する文化・スキル育成とともに進めています。新型コロナウイルスの影響で急速に普及した在宅勤務も、P & Gでは2001年より導入し、2008年にはオフィスに勤務する全社員を対象に拡大して育児や介護などの特別な事由がなくても活用できる体制を整え、さらに2015年からは自宅以外での勤務も可能とするなど、約20年に渡って多様な働き方を推進してきました。

この度、育児中の社員とその家族の選択肢をさらに増やし、より自分らしく働ける環境を目指して企業内保育所を開園することとなりました。おむつは、当社パンパースブランドが提供する定額使い放題サービス「すくすくサブスク™プログラム」*1を採用。おむつが直接保育園に届き、保護者がおむつに記名して保育園に持参する手間や、それを管理する保育士の負担軽減を図ってまいります。また、コロナ禍などで社会問題になった急な保育園休園にも対応できるよう単発利用など柔軟に対応していく予定です。P & Gは、今後も多様な社員一人ひとりが仕事と育児を両立し、自分らしく活躍できる環境の充実に取り組んでまいります。



*1 パンパース「すくすくサブスク™プログラム」に関しましては[こちら](#)

<保育園概要>

名称：P & G滋賀工場保育所「Smile Kids (スマイル キッズ)」

施設類型：企業内保育所（滋賀県認可外保育園）

設置場所住所：滋賀県野洲市上屋 8 8

開所日：2022 年 4 月 1 日

保育時間：基本保育 7:30-18:00 / 延長保育 18:00-19:00

休園日：土・日・祝日、年末年始、その他休業日

定員：19 人

対象年齢：生後 2 カ月から 10 歳児

対象：P & Gグループ正社員および契約社員

施設床面積：140 平方メートル

運営委託会社：株式会社タスク・フォース

P & Gの柔軟な勤務形態に関する制度

● フレックスタイムの進化系「フレックス・ワーク・アワー」（2000 年～）

- 勤務時間を月単位で管理し、コアタイムを満たせば日ごとの開始・終了時間を柔軟に調整可能。
- 特別な事由（育児や介護など）が無くても取得可能

● 在宅勤務の進化系「ワーク・フロム・ホーム」（2008 年～）

- オフィスに限らず、自宅やそれ以外の場所でも勤務可能（情報セキュリティの確保などが条件）
- 特別な事由（育児や介護など）が無くても、曜日指定・日数制限なく取得可能

* 2001 年より育児や介護など特別な事由のある社員を対象に導入。2008 年にはオフィス勤務する全社員を対象に拡大、さらに 2015 年からは自宅以外での勤務も可能に。

● 在宅勤務の進化系「ワーク・フロム・エニウェア」（2021 年～）

- 3 カ月以上から、仕事の種類、成果等、条件を満たした場合、上司および人事の承認のもと日本国内どこからでも勤務が可能（情報セキュリティの確保などが条件）

● 時短・在宅勤務の進化系「コンバインド・ワーク」（2015 年～従来制度を拡充）

- 1 日の中で会社と自宅の両方で働くことができる（計 7 時間 40 分、うち会社で 4 時間 30 分以上の労働が条件）
- 育児や介護などの理由が原則必要で、週に最大 5 日間まで取得可能

SK-II のコーポレートシチズンシップへの取り組み

滋賀工場で製造する「SK-II」は、「#CHANGESTINY ～運命を、変えよう。」という信念に従い、人々を取り巻く社会・コミュニティにポジティブな変化を起こすことを目指し、環境サステナビリティの強化や、コロナ禍においてはマスクの生産や、東京都病院協会を通じ医療従事者にフェイシャルトリートメント エッセンス 1 5 0 0 0 本を無償製品提供するなどを行ってきました。昨年ほさらに、渋谷区と女性起業家支援に関する協定を締結。渋谷区と meeTalk（東京を拠点とする女性起業家ネットワーク）と共に、コロナ禍の影響を受けた中小ビジネスを営む女性起業家支援のための年間プログラムに取り組んでいます。